

月日(日時)	/		/		/		
経過 (病日等)	入院日		手術 日前		手術前日		
					手術当日		
達成目標	・手術の目的・内容を理解し、手術に対する不安を少なくし手術に望むことができるようにしましょう。				・手術に対する不安を少なくし手術に望むことができるようにしましょう。	・手術後の痛みをできるだけ少なくし、安静に過ごしましょう。	
点滴	・点滴はありません。		必要時 ・中心静脈カテーテルを挿入します。 ・点滴が始まります。	・点滴が続きます。		・点滴が続きます。	
薬	・現在内服している薬を確認します。 ・現在内服中の薬について <input type="checkbox"/> 普段通りにお飲みください。 <input type="checkbox"/> 中止の薬があります。()		 	必要時 ・下剤の内服(昼からマグコロール1袋、夕からラキソナート1本)があります。	・医師の指示により()を内服します。		
検査	・身長と体重を測ります。 ・血液検査/尿検査があります。		必要に応じて ・レントゲンがあります。			・血液検査があります。	
処置				・感染予防のためにお臍の掃除と必要な範囲の除毛をします。	・準備に呼ばれたら手術衣に着替えて、弾性ストッキングをはきます。 ・歩ける方は歩いて手術室へ行きます。	・足に血栓予防の為フットポンプ(ふくらはぎのマッサージ器)が付きます。 ・酸素吸入を行います。 ・お腹に管が入ってきます。 ・鼻の管が入ってきます。 ・背中からは痛み止めの管も入ってきます。	
活動 安静度	・制限はありません					・ベッド上安静です。 ・寝返りはできます。	
食事	必要時 ・大腸検査食が始まります。 ・病院食以外は食べないでください。		・(/)より禁食です。 ・飲水(水・お茶のみ)可能です。	・(夜 時)から飲水もできません。	・禁飲食です。 		
清潔	・制限はありません。		・中心静脈カテーテルが始まる前にシャワー浴をします。	・入浴やシャワー浴はできません。		・安静のためシャワー浴はできません。	
排泄	・制限はありません。 ・必要に応じて蓄尿袋に尿をためてください。			・下剤使用後の排便状況を確認します。	・手術の準備に呼ばれたらトイレを済ませてください。	・ストーマ装具をお腹に貼りそこから尿が出るようになっています。 ・手術後は安静のため、排便はベッド上となるので、ナースコールでお知らせください。	
患者様への説明 生活指導	・入院生活について説明いたします。 ・手首にネームバンドをつけます。 ・お薬手帳をお持ちください。 ・手術の一連の流れについて説明いたします。 ・手術に必要な物品を確認します。 ・売店でBセット(腹帯、オムツ)を1セットご購入ください。 ・術後交換用に腹帯をもう1枚ご用意ください。 ・医師から手術について説明いたします。 ・同意書を確認します。 ・手術中の顔色や爪色の観察の為、化粧やマニキュアは落としてください。 ・身体障害者手帳の申請について確認します。		・手術室看護師、ICU 看護師の看護師の訪問があります。	・WOC ナースがストーママーキング(位置決め)を行います。 ・手術後はICU入室するので必要物品を用意します。	・手首にネームバンドがついているか確認してください。 ・手術室へ出発するときは、時計、眼鏡、義歯、湿布、指輪、かつら・ヘアピン・補聴器を外します。 ・ピアスをつけている方は外してください。	・手術室前でご家族に手術についてお話しします。手術室から呼び出しがありましたら看護師がお知らせしますのでそれまではラウンジで待機してください。 ・頭痛、吐き気/嘔吐、腹部の不快感、痛みが出現する可能性があります。そのような場合には速やかに看護師へお知らせください。	

月日 (日時)	/	/	/	/
経過 (病日等)	手術後 1 日目(術後翌日はICU です)	手術後 2～ 日目 状態をみて病室に戻ります	手術後～ 日目	手術後 日以降(退院)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術後の痛みをできるだけ少なくし、可能であればベッドから起き上がりましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後の痛みを出来るだけ少なくし、可能であればベッド周囲を歩くようにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 尿がスムーズに出るよう飲水をこころがけておこないましょう。 手術後の痛みを出来るだけ少なくし、可能であれば病棟内を歩くようにしましょう。 徐々にストーマ装具の交換の練習をしていきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 尿がスムーズに出るよう飲水をこころがけましょう。 ストーマ装具の交換や管理の不安なく退院出来るようにしましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> 点滴が続きます 		<ul style="list-style-type: none"> 全身状態や食事摂取状況を見て点滴が終了します。 	
薬	 <ul style="list-style-type: none"> 中止薬の再開については医師又は看護師から説明いたします。 			
検査	<ul style="list-style-type: none"> 血液検査/尿検査/レントゲンがあります。 			
処置	<ul style="list-style-type: none"> 背中からは痛み止めの管も入っています。 朝フットポンプをはずします。 	<ul style="list-style-type: none"> 背中での痛み止めの管を抜きます。 お腹の管を抜きます。 状態を見て鼻の管を抜きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 尿管のカテーテルを 1 本ずつ抜きます。 創の抜糸をします。 ストーマの抜糸をします。 	
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> 朝から歩行が可能となりますが、最初の歩行時は必ず看護師が付き添います。 	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> 禁飲食です。 	<ul style="list-style-type: none"> 鼻の管を抜いた後から飲水が開始となる予定ですが医師又は看護師から説明いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示により食事(流動食、5 分粥、全粥)を提供いたします。 水分をこまめに摂りましょう。 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可によりシャワー浴が可能となります。 	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> お腹に貼ったストーマ装具から尿が出ます。 	<ul style="list-style-type: none"> ストーマ装具の交換を看護師が行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ストーマ装具の交換の練習をしていきます。 	
患者様への 説明 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 吐き気/嘔吐、腹部の不快感、痛みが出現する可能性があります。そのような場合には速やかに看護師へお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> 吐き気/嘔吐、腹部の不快感、痛みが出現する可能性があります。そのような場合には速やかに看護師へお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> アルコールは出血を助長するので次回の外来日までの摂取は控えてください。 便秘にならないようバランスのとれた食生活をこころがけましょう。 寝ているときの尿バックの位置はストーマパウチの高さより下になるようにしましょう。 ストーマ装具の交換をご家族も一緒に練習していきましょう。 退院後も創を清潔に保ちましょう。 手術を受けるにあたり、血液をさらさらにする薬など内服薬を一時的に中止している方は、医師の指示により内服を再開してください。 	

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です